

平素より、患者さんのご紹介をいただき、有難うございます。  
当院では、小児科以外は予約制で診察を行っております。  
患者さんのご紹介に際しましては、紹介状をご用意いただき  
お取りいただきますよう、お願い申し上げます。

**事前に必ず予約を**

**医療機関からの予約は 地域連携直通電話・FAX へお願いします。**  
TEL: 047-458-6543 FAX: 047-458-6545

- ・ 受付時間: 月～金 9:00～16:00 土 9:00～11:30  
※ 日曜、祝日、毎月第3土曜日、12/5(創立記念日)、12/30～1/4 休
- ・ 時間外の場合は FAX を送信してください。翌受付時間内にお返事いたします。

**患者さんからの予約は 電話予約センター にて承ります。**  
予約センター電話番号: 047-458-6600 (患者さん専用)

- ・ 最初に音声ガイダンスが流れます。紹介状をお持ちの患者さんは 1 を押していただきます。
- ・ 受付時間: 月～金 9:00～16:00 土 9:00～11:30  
※ 日曜、祝日、毎月第3土曜日、12/5(創立記念日)、12/30～1/4 休
- ・ 予約時間等の変更時にも、必ず電話にてご連絡ください。

■検査連携について

- ・ 検査連携は、医療機関からの依頼のみの受付になります。直接、患者さんからの受付は出来ません。
- ・ 連携検査: CT、MRI(単純)、RI、X-P、マンモ、骨密度、セファロの画像検査のみ

■やちよ夜間小児急病センターについて

- ・ 専用電話番号: 047-458-6090 (医療相談は行っておりません)
- ・ 受付時間: 18:00～23:00  
※予約は必要ありませんので、直接ご来院ください。

地域医療連携フォーラムを開催いたしました。

医療支援室長 縄島正之

平成 27 年 1 月に続き、平成 27 年 11 月 7 日(土)、幕張のホテル ザ・マンハッタンにて「平成 27 年度東京女子医科大学八千代医療センター地域医療連携フォーラム」を開催いたしました。日頃よりお世話になっている八千代市医師会をはじめ、近隣医師会や歯科医師会、薬剤師会、地域医療支援病院における連携登録医の先生方のほか、コメディカルスタッフや行政関係者等を含め、総勢 253 名(院外 132 名、院内 121 名)の方々にご参加いただきました。この場をお借りしまして改めて感謝申し上げます。

フォーラムは講演会と懇親会との二部構成で、はじめに、講演会に先立ち新井田病院長より、平成 28 年 8 月竣工予定の新病棟について、新たに強化される機能及び工事の進捗状況について講演し、続いて小児神経科長の高梨潤一、母体胎児科・婦人科長の正岡直樹、救急科長の貞廣智仁の3氏より講演いたしました。各科の立場から現状および今後の地域医療における連携関係のあり方や診療体制などについての講演でした。第二部の懇親会・意見交換会では、新任の科長をはじめ各診療科の医師や看護師の紹介など、まさに顔の見える連携関係構築のきっかけとすることができました。また、参加者同士が職種を超えて交流する場面もみられ、大変貴重な機会になったと考えております。

当フォーラムは、今後も例年開催する予定となっております。次回の開催につきましては、詳細が決まり次第、改めてご連絡させていただければと思っております。皆様におかれましてはご多忙の折とは存じますが、多くの方にご参加いただき、ご指導ご鞭撻を賜りたく、何卒宜しくお願いいたします。

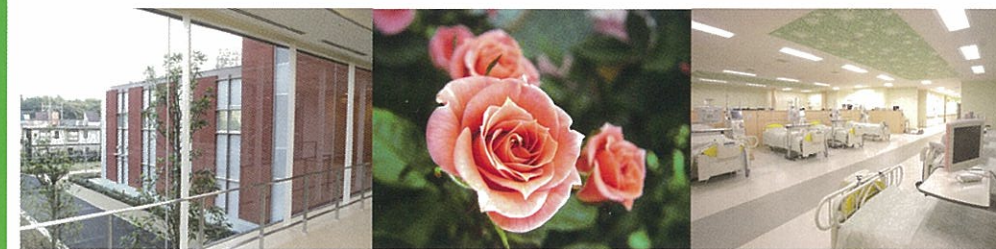


2016.5  
発行

理念: 地域社会に信頼される病院としての心温まる医療と急性期・高機能・先進医療との調和

～基本方針～

- ・ 本学の理念である「至誠と愛」に基づき、皆さまに信頼される病院を目指します。
- ・ 患者さんのプライバシーを守り、一人ひとりの権利を尊重します。
- ・ つねに最先端の医療技術と知識を用いて、安全で良質の医療を提供します。
- ・ 患者さんに合った最善のチーム医療を行います。
- ・ 中核病院として地域の診療所・病院等との連携を推進し皆さまの健康を維持・増進します。



開院10周年に向けて

6月には念願のヘリポート付きの新病棟が完成いたします。7月16日には、アパホテル&リゾート(東京ベイ幕張)にて開院十周年記念会および新棟の竣工式を行ないます。8月初旬には新しい病棟が開床いたします。フルオープンすると501床の病院となります。同時に救命救急センターが認可され、新しい機能として脳卒中 UNIT(SCU)とハートセンターなどがオープンし、総合周産期母子医療センターや全県対応型の小児連携拠点、地域災害拠点とあわせて小児から成人まで扱う全国でも珍しい高度急性期病院として生まれ変わります。新病棟最上階はがん治療に特化した病棟となり、新たに化学療法科も新設いたしました。

また、これらの増床に伴う管理体制を強化するために教育担当の副院長職を1人増やし、副院長が4人から5人体制となります。

今後、よりよい地域医療連携体制の強化を目指して、職員一丸となって努力していく所存でございますので、益々のご支援をよろしくお願い致します。

平成28年5月

病院長 新井田 達雄



第2病棟外観(平成28年5月)



ヘリポート



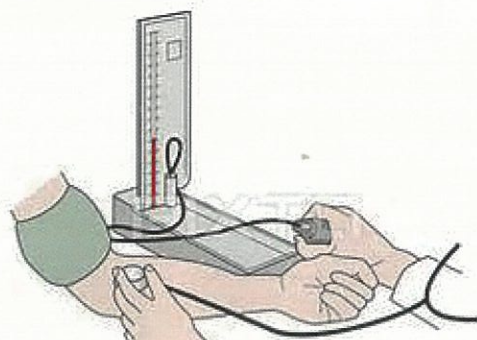
## 新副院長からのご挨拶

4月から副院長を拝命いたしました小児科の高梨です。千葉県木更津市で幼稚園から中学まですごしました。千葉大学では準硬式野球部(橋本副院長、佐野・菅先生と同じです)に所属しておりました。高校野球(銚子商業、習志野)とサッカー(JEF 千葉)観戦、読書(歴史物)を趣味にしております。

副院長として、医学生教育と橋本副院長の補佐として臨床研修を担当してまいります。東京女子医科大学の医学生教育は、昨年度から本院・東医療センターに八千代医療センターが加わり、3 病院で分担して行われています。八千代医療センターでは、外科・救急科・産婦人科・小児科に 4-5 名 1 グループで 4 週間ずつ廻ってきます。女子医大の 5, 6 年生が、常に 12 名以上在院していることとなります。実際の患者さんの診療を通して多くのことを学び、人の痛みの分かる医療者に育てたいと思います。八千代医療センターは、多くの患者さんを診ることができ、診療科の垣根が低く、医療スタッフも和気藹々としているなど、学生からの評判も上々です。スタッフの日頃のご協力に感謝申し上げます。今後ともお世話になることと思います、どうぞよろしくお願いいたします。

来年度から新たな専門医制度(医師は初期研修 2 年間終了後、3 年目で自分の専門診療科・研修病院を決め、3 年間研修し専門医を取得します)が開始予定です。八千代医療センターは7つの診療科(内科、外科、産婦人科、救急科、麻酔科、病理科、小児科)で基幹施設となる予定で、自前で後期研修医を育てることとなります。連携施設での研修も必須であり、人事交流が今まで以上に頻回となります。多くの優秀な若手医師を獲得し育てることが、八千代医療センターだけでなく千葉県の将来の医療に大変重要となってきます。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

また4月から小児診療部が新設され、部長職を併せて拝命いたしました。8 月の新棟竣工に伴い、小児科は 80 床余(在来棟 4 階東・西病棟)となる予定です。寺井勝 前病院長(現・千葉市立海浜病院院長)の築かれた小児科をさらに発展させ、より広範な地域小児医療、高度救命医療に貢献すべく尽力いたします。



副院長(教育担当)  
高梨 潤一

## 麻 酔 科

当科は現在 7 部屋の中央手術室 全身麻酔可能な分娩手術室 外来手術や日帰り手術が可能な外来手術室 3 部屋の 11 部屋における麻酔および全身管理を担当している。小児、心臓、周産期、呼吸器、消化器、脳神経、泌尿器、整形外科他すべての診療科の手術に対応している。重症症例や緊急手術の麻酔全身管理も積極的に受けている。それ以外にも、少しずつではあるが、ペインクリニック患者の受け入れも今後増やしていく予定である。ペインクリニック患者は具体的には、帯状疱疹後神経痛、腰痛症、顔面神経麻痺などの症状がある患者に対して、交感神経ブロックや薬剤による痛みのコントロールを行い、慢性疼痛や急性疼痛などを緩和する診療科である。しかしまだまだ、ブロックや緩和医療は十分体制と施設が整っていないので、対応は不十分であるが今後拡大充実していく予定である。近隣の医療機関、患者に対して今後とも貢献していくために邁進していく診療科 麻酔科である。



## 化学療法科

2016 年 4 月より八千代医療センターでは新たに化学療法科(腫瘍内科)を開設いたしました。化学療法科では、胃癌、大腸癌、膵癌、肝癌などの悪性腫瘍に対する薬物治療(抗がん剤治療)を専門的に行います。近年の薬物療法の急激な進歩により、薬剤の種類は大幅に増え、治療は複雑化しており、専門的な知識を有する化学療法医(腫瘍内科医、薬物療法医ともいいます)の需要が高まっています。当科では薬物療法の専門医が最新の化学療法を、副作用を抑えて安全に施行できるように努めております。また消化器科、呼吸器科、画像診断科、内視鏡科、心身医療科などの各診療科と密に連携して診療にあたっています。また標準的な化学療法に加え、さらに優れた治療法の開発を目指した臨床研究にも取り組んでおります。

当科にご紹介いただく患者様のなかには、完治が望めない方もたくさんいらっしゃいます。延命目的の治療であるからこそ、ただ薬剤を投与するだけではなく、患者の生活の質を大切にしていく必要があり、身体のみならず心のケアも重要な治療と考えています。看護師や心理療法士、精神科医(非常勤)とチームを組んで一人ひとりの患者様に向かい合っていきたいと考えております。

本年 12 月には新病棟の 5 階に「がん治療病棟」がオープンします。がん治療が必要な患者様がいらっしゃれば是非ご紹介を賜りますようお願い申し上げます。



科長 森岡 宣伊



科長 倉持 英和